

報道関係者 各位

2016年7月27日

ベルメゾン生活スタイル研究所 「女性の生活意識アンケート調査（第9回）」結果を発表

**「年金をあてにしていけない」82.3%、
「自分の資産や貯蓄に対して不安を感じる」79.4%
30～50代女性の将来への不安感、半年前より一段と増幅**

株式会社千趣会（本社：大阪市 代表取締役社長：星野裕幸 以下千趣会）が運営するベルメゾン生活スタイル研究所（<http://www.b-desse.jp/>）では、2012年6月から半年に1回、女性を対象にした生活意識アンケート調査を実施しています。この調査は、女性の景況感や、消費、節約意識について聞いた結果を時系列データとしてまとめたものです。2016年6月に実施した調査結果からは、「年金をあてにしていけない」と思う人が前回調査より4.9ポイント増えて82.3%に、また「自分の資産や貯蓄に対して不安を感じる」と思う人は前回調査より10.3ポイント増加して79.4%になるなど、将来に対する不安感が一段と増幅している実態がみえてきました。

●調査は2016年6月13日～6月30日にインターネットで実施。30代～50代の女性2370名の回答結果を集計した。

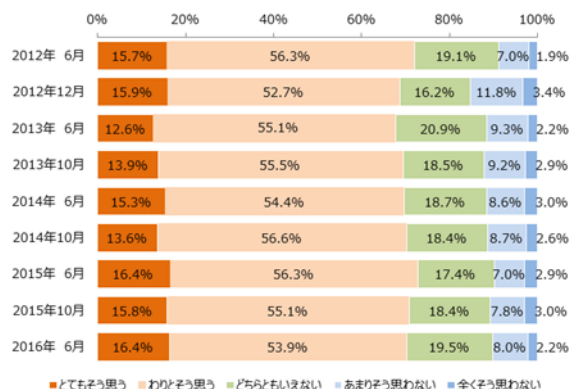
【調査結果サマリー】

① 現在の生活について <http://www.b-desse.jp/report/1321/>

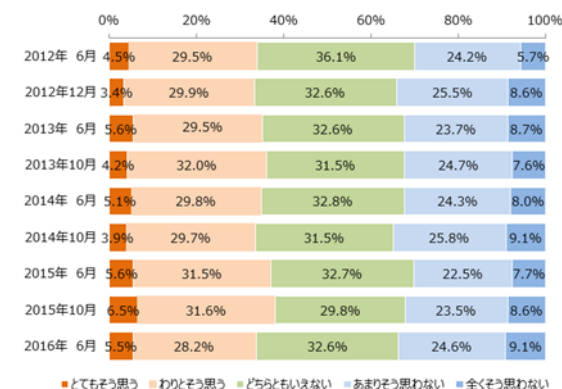
**7割の女性が「自分は幸せ」、
一方で「バランスのとれた生活ができている」人は3割強。**

「現状の自分は幸せだ」と思っている人は70.3%でほぼ横ばい。一方で、「今、自分は家庭や仕事、趣味などバランスのとれた生活ができている」と思っている人は33.7%で、前回より4.4ポイント減少しました。忙しい女性が増える中で、生活全般のバランスは悪化傾向にあると言えます。

■現状の自分は幸せだと思いますか？



■今、自分は家庭や仕事、趣味など、バランスのとれた生活ができていると思いますか？

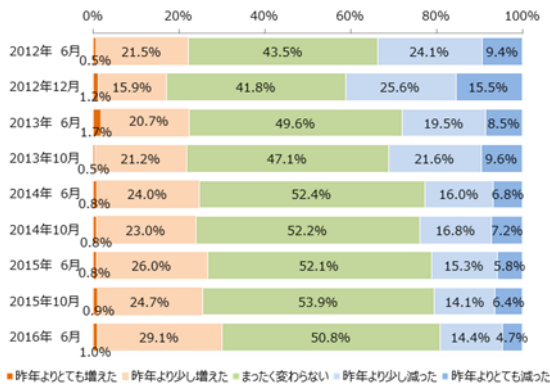


② 現在の収入について <http://www.b-desse.jp/report/1328/>

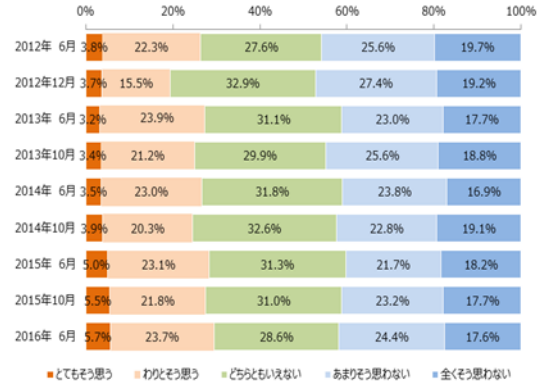
**配偶者の給料が増えた家庭は30.1%。
調査開始以来最も高い結果に。**

配偶者の給料が増えた家庭は30.1%で、調査開始以来の高い数字になりました。特に30代で増えた人の割合が高く、50代と比べると23.2ポイントもの開きがあります。一方で配偶者の現在の給料に満足している人は29.4%。満足していない人は42.0%。満足していない人が満足している人を上回っており、家計のやりくりが厳しい家庭が多いことがみえてきます。

■ 「配偶者のお給料」の変化を教えてください。



■ 「配偶者の所得・収入」に満足していますか？

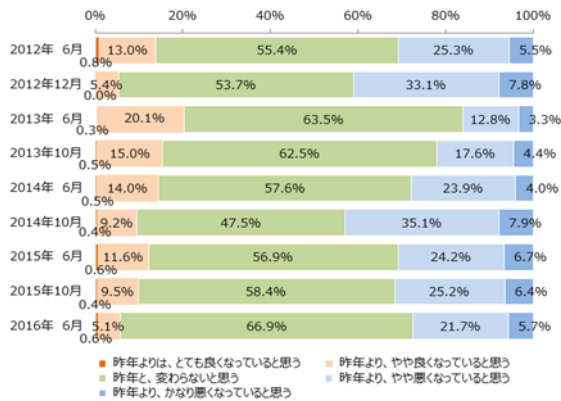


③ 景況感と消費について <http://www.b-desse.jp/report/1337/>

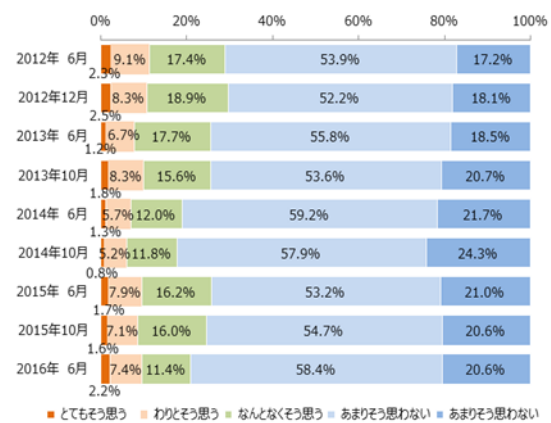
昨年と比べて景気の影響は変わらないと感じながらも、なかなか緩まない財布の紐。

景気の影響については、「昨年と変わらないと思う」が前回調査より 8.5 ポイント増加して 66.9%に上昇。7 割弱の女性は景気はほぼ横ばいと感じているようです。一方で、財布の紐が緩んだと回答した人は 21.0%で、前回調査より 3.7 ポイント減少。財布の紐は緩んでいないと回答した人は 79.0%で、前回調査に比べて 3.7 ポイント増加しています。景況感は横ばいと感じながらも、財布の紐は決して緩めていない実態が明らかになりました。

■ 「昨年の景気の影響」と「今の景気の影響」比較して、どう思いますか？



■ 一年前と比較して、「財布の紐が緩んだ」と思いますか？

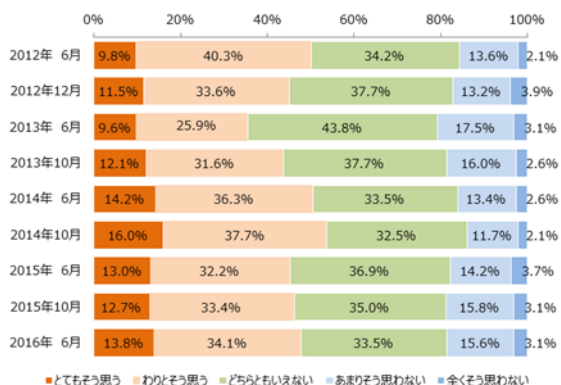


④ 節約意識について <http://www.b-desse.jp/report/1345/>

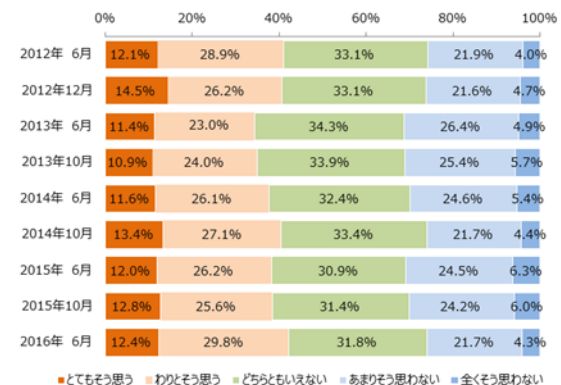
高まる節約意識。家計が逼迫していると感じている人は 4 割以上。

一年前と比べて節約をより意識するようになった人は 47.9%で、前回調査と比べると 1.8 ポイント増加。30 代では 51.9%と他の年代より高い数値になっています。また日々の生活の中で家計が逼迫していると感じている人は 42.2%で、前回調査と比べると 3.8 ポイント増加。年々家計が厳しくなっている実態がみえてきます。

■ 1年前に比べて、節約をより意識するようになったと思いますか？



■ 日々の生活で家計が逼迫していると感じますか？



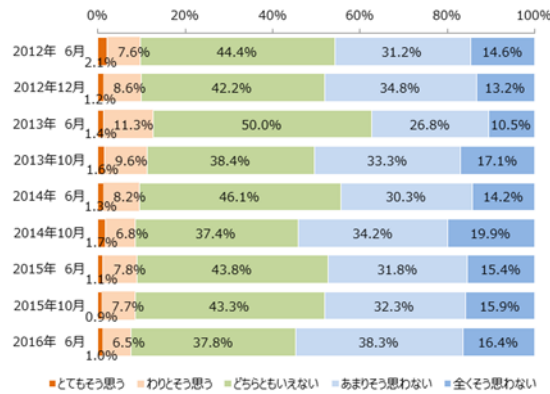
⑤ これからの生活や収入について <http://www.b-desse.jp/report/1352/>

半数以上が来年の経済状況を悲観的に予測。

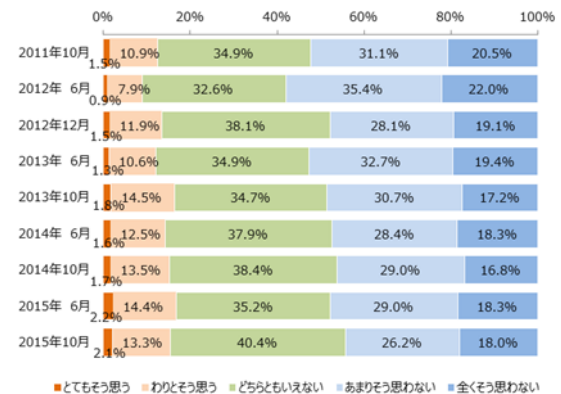
配偶者の昇給を期待していない人は44.2%。

来年の経済状況は今よりマシになると思う人は7.5%に留まり、前回調査より1.1ポイント減少。一方そう思わないと答えた人は54.7%で、こちらは前回調査よりも6.5ポイント増加。これから先の景気を悲観的にみている人が多い結果となりました。配偶者やパートナーの来年の給料（収入）は増えると思う人は15.4%で、前回調査より1.2ポイント減少。増えると思わない人は44.2%で、こちらは前回調査よりも3.1ポイント減少しているものの、配偶者やパートナーの来年の給料に期待していない人は半数弱という結果になりました。

■ 来年の経済状況は今よりマシになると思いますか？



■ 配偶者やパートナーの来年の給料（収入）は増えると思いますか？



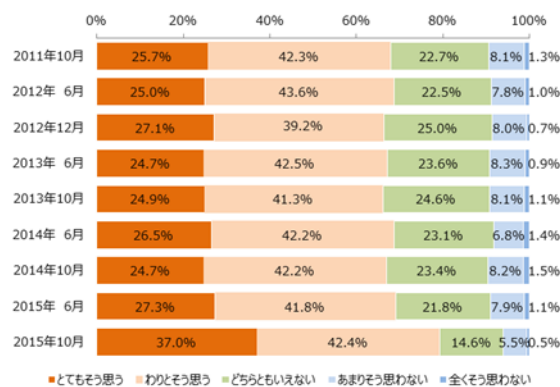
⑥ 将来に対する気持ちについて <http://www.b-desse.jp/report/1360/>

年金、貯蓄、自然災害や子供の教育・・・

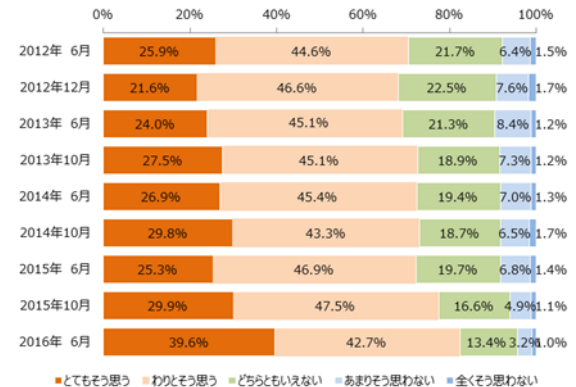
将来への不安感は一段と増幅。

自分の資産や貯蓄に対して不安に感じる人が79.4%で、前回調査よりも10.3ポイントと高い増加率に。また、年金をあてにしてはいけないと思う人は、82.3%で前回調査よりも4.9ポイント増加し8割を越えました。老後の生活が心配だと思っている人は78.6%で、前回調査よりも5.2ポイント増加。地震などの自然災害に不安を感じる人は80.1%で、前回調査より7.5ポイント増加。中でも「とてもそう思う」と回答した人は前回調査の24.5%から36.5%と一気に12ポイント増加するなど、将来に対する不安の高まりが顕著にみられる結果となっています。

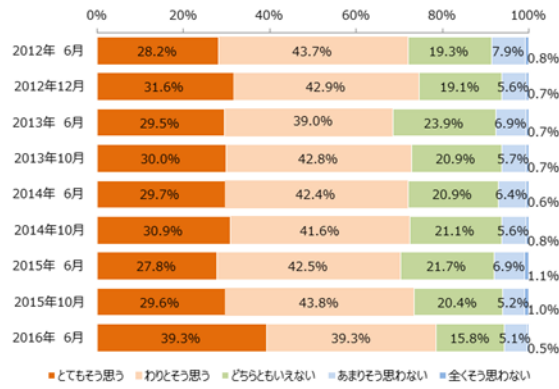
■ 自分の資産や貯蓄に対して不安に感じることがありますか？



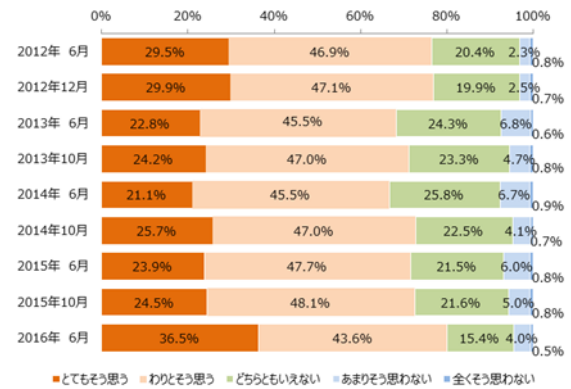
■ 年金はあてにしてはいけないと思いますか？



■ 老後の生活が心配ですか？



■ 地震などの自然災害に不安を感じますか？

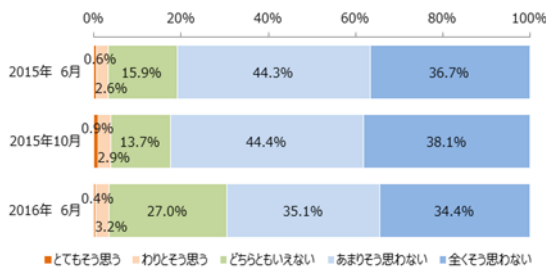


⑦ アベノミクスと今後について <http://www.b-desse.jp/report/1371/>

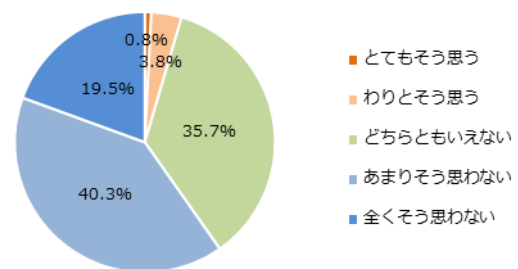
実感なきアベノミクス。
所得や地域格差はさらに拡大！？

アベノミクスで生活しやすくなっていると思う人はわずか 3.6%。消費税 10%の先送りで景気が回復すると考える人は 4.6%に留まりました。一方で、所得格差がもっと大きくなると思う人は 84.6%で前回調査よりも 6.2 ポイント増加。また、地域格差がもっと大きくなると思う人は 78.2%で、前回調査よりも 4.8 ポイント増加するなど、格差社会の到来を予測する声が増加する結果となりました。

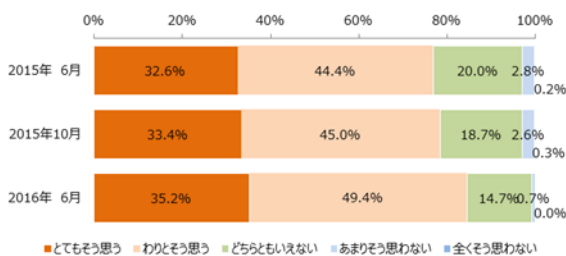
■ アベノミクスで生活がしやすくなっていると感じますか？



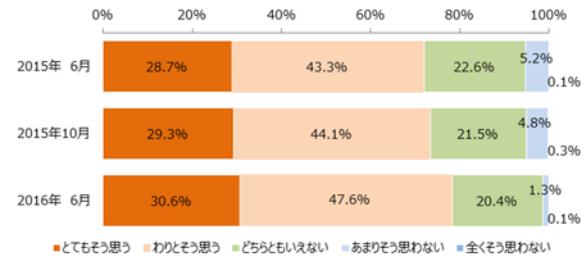
■ 消費税10%の先送りで景気が回復すると思いますか？



■ 所得格差はもっと大きくなると思いますか？



■ 地域格差はもっと大きくなると思いますか？



なお、今回の調査結果について詳しくは、ベルメゾン生活スタイル研究所のホームページ【アンケートレポート】をご覧ください。

<http://www.b-desse.jp/report/>

※ここに掲載されている情報は、発表日時点の内容となります。

◎本件に対するお問い合わせ先
 株式会社千趣会 経営企画本部 広報部 : 加藤 浅川
 東京都品川区北品川 5-9-11 大崎 MT ビル
 TEL : 03-5475-7513 FAX : 03-5475-7516 e-mail : pr@senshukai.co.jp